

## プレスリリース

2022(令和 4)年 1 月 5 日  
一般社団法人 日本船舶電装協会

### 船舶電気装備技術者の資格検定試験に 134 名が合格

(一社)日本船舶電装協会は 2021 (令和 3) 年度の「船舶電気装備技術者資格検定試験」を、10 月 13 日の札幌を皮切りとして全国 7 カ所の会場において実施し、134 名(対前年度比 5 名減)が合格しました。この資格検定試験は、当協会が主要な事業として公益財団法人 日本財団の支援を受けて実施しています。

各試験会場では試験前日に「学習コーナー」を開設し、受験者が事前に受講している通信教育の疑問点等についての理解を深めるため、当会指導技師が指導にあたりました。

試験の結果は、12 月 18 日に開催された学識経験者及び有識者により構成される船舶電気装備技術委員会(委員長:林 尚吾 東京海洋大学名誉教授)において、最終的な合否が判定され合格者が決定しました。

今年の試験は、万全の新型コロナウイルス感染防止対策を講じるとともに予めその内容について受験者の皆様にお知らせし、安全・安心に配慮して実施しました。受験者数は 160 名(対前年度比 9 名減)で、当日の欠席者は 4 名(前年度と同数)であり、受験者とその所属する事業者の皆様の熱意が感じられました。

#### 2021 (令和 3) 年度の資格検定試験の概要

検定試験の種類	受験者数	合格者数
船舶電装士	63 名	55 名
主任船舶電装士	30 名	20 名
船舶電装管理者	4 名	4 名
航海用レーダー整備士	34 名	31 名
航海用無線設備整備士	29 名	24 名
全体	160 名	134 名
前年度	169 名	139 名

検定試験は、①船舶電装士②主任船舶電装士③船舶電装管理者④航海用レーダー整備士⑤航海用無線設備整備士の五つに分けて実施し、合格者には協会から技能資格者としての証明書が交付されます。

これら技能資格者の数及びその他の必要な条件を満たした会員事業場が、運

輸局等から「船舶電気装工事を行う事業場」、「航海用レーダー等装備・整備事業場」又は「GMDSS 設備サービス・ステーション」の証明を受けた場合、自主検査の結果を国や日本小型船舶検査機構(JCI)へ書面で提出し、認められると船舶検査官等による立会検査の一部が免除されます。

また、この制度は日本海事協会(NK)においても日本船籍に対する航海用レーダー等装備・整備及び GMDSS 設備整備で活用されています。

お問い合わせ先

(一社) 日本船舶電装協会 技術部  
電話 03-3504-0858